

別紙資料 1

吹奏楽部顧問からの聞き取りについて

①名寄中学校（聞き取り：令和7年9月18日（木））

部員数	13名
練習日と 練習時間	夏は4時半から6時半 ガイドラインに従い1日休み 冬は4時から5時半 土、日はどちらか休み
指導者	2名体制（指導1名、会計と雑務1名）

- ・大会への参加（イベントへの参加）→1つになるとそれぞれのニーズに応えられない
- ・吹奏楽は、他の先生ができない専門的なもの（管理職の引き受け依頼を断れない）
- ・コンクールなどへ向けて、毎日練習、指導ができるか

②名寄東中学校（聞き取り：令和7年9月29日（月））

部員数	10名（3年生：1名）
練習日と 練習時間	平日は毎日 土曜は午前中 コンクール前は毎日
指導者	2名体制（指導1名、会計と雑務1名）

- ・部活動にかかる負担（曲目、楽譜、日程調整、日程表などなど）が大きい
- ・部費10,000円/年（ホール代、修理代、楽譜代などで実際には足りない）
※追加で15,000円を徴収した
- ・今後、「地域展開」にあたり、できれば、学校を挟まないでほしい
補足：生徒が悩んでいること、困っていることをどうしても無視できない
そのため、地域（指導者）と生徒の間に挟まってしまうと、負担感は
これまでと変わらないことから、そうなるならば、初めから自校の
生徒とだけ関わっている方が楽であるという意
- ・部活動の意義：自主性を育てることが今後も維持できるのか
- ・部活動は、教育外指導であり、教員の善意で成り立っていたもの。
これからの時代はそのやり方が難しくなる。

③風連中学校（聞き取り：令和7年9月26日（金））

部員数	14名（1年生：5名、2年生：3名、3年生：6名）
練習日と 練習時間	平日：4月～9月 16:00～18:30 休日：9:00～12:00 or 13:00～16:00 10月～3月 16:00～17:30
指導者	2名体制（指導1名、会計と雑務1名）+外部指導者

- ・大会への参加（イベントへの参加）
→1つになるとそれぞれ（地域）のニーズに応えられない
- ・芸術・文化を衰退させない方向にあるのかどうか
- ・指導者の確定、パート担当講師は確定すべきである
- ・練習時間帯も検討が必要である。

別紙資料 1

〈地域展開への課題・問題点の意見〉

1. これまでと同じような活動を維持することは、現実的に無理ではないか

練習時間 平日 16:00～18:00（片付け 18:30） 土、日 9:00-12:00 or 13:00-16:00

練習場所 楽器の保管を含め、練習場所が確保できるか

※楽器が常に保管（置いておくことが可能な）できる場所の確保

※そのための移動手段（バス等）の確保

※町内会のお祭りやイオン等のイベントに各校吹奏楽部がお招きされ参加し、イベントを盛り上げていた経緯もある。全てのイベントに参加することが困難であることから、仮に統合となった場合、町内会等に対して行政から周知もお願いしたい。

2. 統合について

拠点校として集約された場合、拠点校となった学校の負担感が計り知れない

拠点先の学校に行くまでの交通手段、楽器運搬などどうするか

（1番の課題は「楽器」である）

資金面の負担が増えないか

修理費、消耗品（リード）などはどうするのか

楽器の保管は大きいものや高価なものもあり、簡単に楽器の変更はできること

（練習量が増える）

大会の参加や地域行事への参加、さらにはコンクールといった大会を目指すのか、

それとも趣味の範囲の演奏でかまわないのか。（指導者、生徒の考え方整理必要）

3 指導者・指揮者について

指揮者も曲の1部。指導者が平日と土・日で違うことに対する生徒の混乱がある

（同一人物が望ましい）

練習の時間帯に指導者がいるのかどうか（指導者にあわせて夜に集まるのか）

曲の選定、無い楽器、無いパートに対するモチベーションの維持

4 その他

名寄市の特色として、若い先生方が1・2校目であることが多く、働き方改革の面から、「NO」といえる社会的背景があるので、学校が一切タッチしないことも考えられる

（部活動に関わりたくないという考えが優先される時代となってくる）

地域展開には、名寄市の社会資源である「名寄吹奏楽団」の協力は不可欠と考えるが、各々の方がお仕事に就いており、16:00からの指導は困難と思われる。

他の事例にあるように、中学校の部活動自体を廃止して、音楽を習いたい方は、地域の練習に参加するようにする、保護者が練習先まで送迎するといった案も今後のことを考えた場合、仕方のない考え方であると思う。